

2021年9月9日

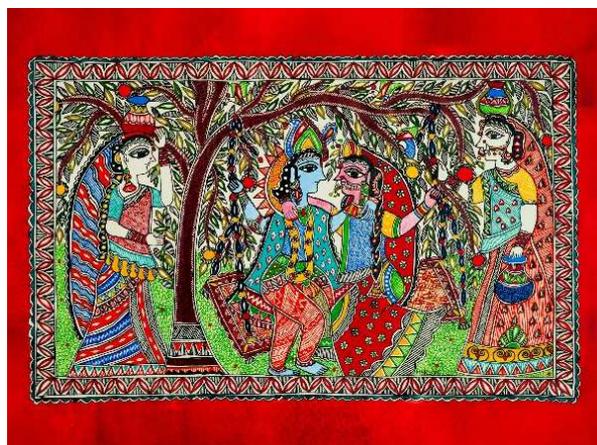
**「インド農村部アーティスト支援プログラム」**  
**銀座「RICOH ART GALLERY」で作品展を開催**  
～インド農村部在住の女性アーティストの収入向上と生活改善を目指して～

株式会社リコーは2020年11月から取り組んでいる社会貢献活動「インド農村部アーティスト支援プログラム」の絵画作品展を2021年9月10日(金)より銀座「RICOH ART GALLERY」で開催します。展示作品は本プログラムのトレーニングを受講したアーティストの作品13点で、インドのビハール州マドバニ地区の伝統的美術品であるマドバニ絵画を制作したものです。作品の一部はリコーのアートブランド「StareReap(ステアリーブ)」\*1との共創による作品となっています。

インドのビハール州は、失業率が高く深刻な貧困状態にあると言われており、特に女性は収入を得る機会が限られています。ローカルアートが盛んなマドバニ地区では、伝統的に女性がマドバニ絵画を制作し、土産物として販売していますが、デザインやICT(Information and Communication Technology)活用のスキル、販売ルートを獲得に必要な知識が不足しているため、収入が非常に少なく生計を立てることが難しい状況にあります。

「インド農村部アーティスト支援プログラム」は、インド農村部在住の生計を立てることが難しい女性アーティストを対象に、デジタルに関するスキルの向上とリコー独自の立体表現手法(2.5D)を組み合わせ、支援する社会貢献プログラムです。

インドの社会企業/NGOであるDRISHTEE(ドリスティ)と連携し、プログラム初年度の活動として2021年1月より4か月間にわたり、女性アーティストを対象にアートスキルの向上とデジタルに関するスキル習得のためのトレーニングを実施してまいりました。アーティストが技術を身に付け、収入向上や生活向上につながることを目指したものです。今回の作品展では、トレーニングを通して生まれたたくさんの素晴らしい作品の中から13点を展示します。一部の作品はリコーのアートブランド「StareReap」との共創作品で、独自の技術により凹凸や質感などをリアルに再現する立体表現(2.5D)を加えた作品となっています。



インド・ビハール州マドバニのローカルアート「マドバニペイント」



立体表現(2.5D)を加えた作品

株式会社リコー <https://jp.ricoh.com/>

報道関係のお問い合わせ先 広報室 TEL : 050-3814-2806 (直通) E-mail : [koho@ricoh.co.jp](mailto:koho@ricoh.co.jp)

リコーグループでは、2020 年度から社会貢献の重点分野のひとつとして、多様な働く人、例えば障がい者、ホームレス、移民、難民、シングルマザーなど働くことに困難を抱える人の「はたらく」を支援しています。本プログラムは、2019 年からリコーが参画している B4IG\*<sup>2</sup>が掲げるビジネスにおけるインクルーシブ(包括的)な成長を目指す取り組みでもあります。リコーは今後も本プログラムを通して、SDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)が目指す“誰も取り残さない”社会に向けて、デジタル技術を用いて格差解消に貢献していきます。

\*1 「StareReap」は、リコー独自のインクジェットテクノロジーを用い、アーティストとの共創によるオリジナルアート制作による新しいクリエイティブ・文化形成を目指しています。

\*2 Business for Inclusive Growth(B4IG):2019 年 8 月の G7 ビアリッツ・サミット時に発足。経済協力開発機構(OECD)が監督機関となり、現在欧米を中心に約 40 の企業がメンバーとなっています。

※会社名および製品名は、それぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

## 展覧会の詳細

「インド農村部アーティスト支援プログラム」作品展 ～マドバニ絵画との出会い～

■期間 2021 年 9 月 10 日(金)～2021 年 10 月 9 日(土)

■営業 12:00 - 19:00

■会場 RICOH ART GALLERY LOUNGE (9 階)

■休廊日 月・日・祝

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急事態宣言発令等により、会期・営業時間が前後する可能性がございます。予めご了承ください。